

昭和59年度の調査が58年度の調査と同一地域の発掘であったため前回の調査結果を考慮して遺構の検出面までの土層を各地点において調査した。それは前回と同様に地表からほとんど変化なく遺構検出面まで堆積しており、基本的層順は畑地として耕作されていた表層の耕作土（10～20cm）とその下にある中層（50～60cm 耕作土と変わるものではないが、耕作が達していないために固く締る）と下層（20cm中層と同様であるが遺物を多く含む）が遺構検出面までにある堆積物であった。これらの層と遺構が検出された層との差はやや黄味が強いというだけであって検出には困難を極めた遺構もあった。

遺構が、検出された面と当時の生活面との関係であるが、本来それが一致することを最善の事として発掘が進められるべきものであるが、遺構内の面がその目的を達せられるのにたいして検出面ではそれを確かめることが、偶然、生活面に置かれた遺物が遺存した場所を除いては非常に難しいことが多いのである。下筋生田畑田遺跡・和田防町遺跡において、その例があったことで、ある程度推定が可能であり、一部では、生活面の確定が出来たのである。

下筋生田畑田遺跡では表土下0.3mで幅1mの石敷路を検出し、その両側には側溝の存在も確認された。この石敷遺構の時期は、伴出した遺物から17世紀前半と考えられる。

和田防町遺跡のB地点

和田中町神明の集落の南500mにある畑地で水田面から70cmほど高く島状に孤立していた。

この畑の地表から60～30cm下で幅1.5mのまばらな石敷路を検出しその北側に幅1mの側溝も存在した。时期的には17世紀以後で江戸期の資料がわずかに伴出している。

和田防町遺跡のF地点、SX-017

和田中町神明の集落の南にある畑地で水田面から70cmほど高い島状に孤立していた。この畑の地表から80cm下で、土師器の皿が5枚規則的におかれた祭祀遺構があり、これは掘り込み内に埋納されたものではなく、当時の地表におかれていた。时期的には不明な点が多いが、同様の土師皿が一乗谷朝倉氏遺跡から多く出土していることから16世紀代の土師器の皿と思われる。

和田防町遺跡のH地点、SE-019

H地点で検出された井戸で、地表から80cm下で検出され、その掘り方の上に敷かれた礫が発見された。これは井戸が使用された当時に設けられたものであった。时期的には井戸底から奈良時代の須恵器が小片ながら検出されている。

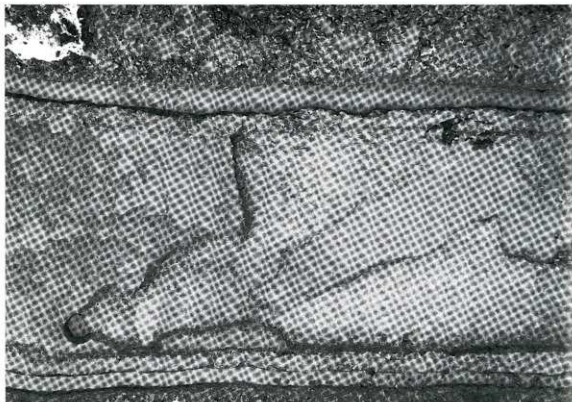
これらは面として扱えられたものであった。

これから当時の生活面は現在では水田面もしくは水田下10cm前後の付近にあった。そしてその他の遺構が検出された面もほぼ同様であった。では現在の畑の標高との差は当時以降の堆積と考えねばならないことになり、現在の地形が示す自然堤防の位置が当時のすべてを示すものではなく、当時の標高を表すものではないことが確認された。

この問題は、今後、資料の増加によって遺跡立地の小地形復原が可能になることによって解決されるものと思われる。

和田遺跡の調査は、今回でピリオドが打たれた。過去4回の調査で約15,000m²を発掘した。これは、推定される遺跡の広がり約15万m²と考えられるから、その約1割を発掘したことになる。約1割でも、遺跡の分布範囲のそれぞれの端に近い部分について発掘したことになり、ほぼ、複合遺跡の年代的な構成は把握できたと考えている。ただ水路部分と、島状に残っていた畑地部分に調査の対象を絞ったこともあって、水田の部分については何んら調査の手を加えなかった。なので面的に広く掘ったとは言え、やはり遺跡の全体像をとらえることができなかった。(山口)

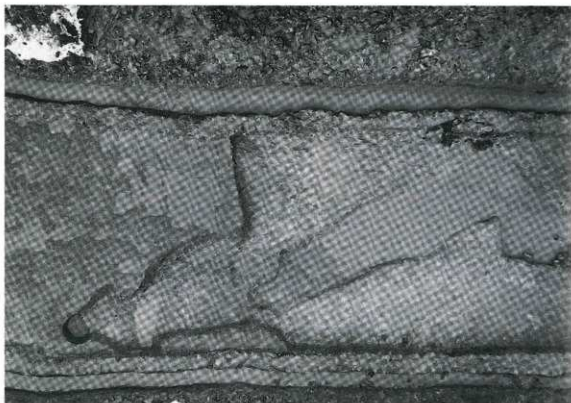
写真図版



(1) SD-002、SK-004、SK-005 2区（東半部）



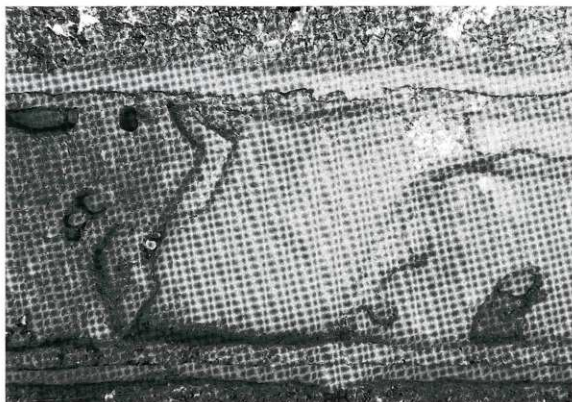
(2) 1区（西半部）



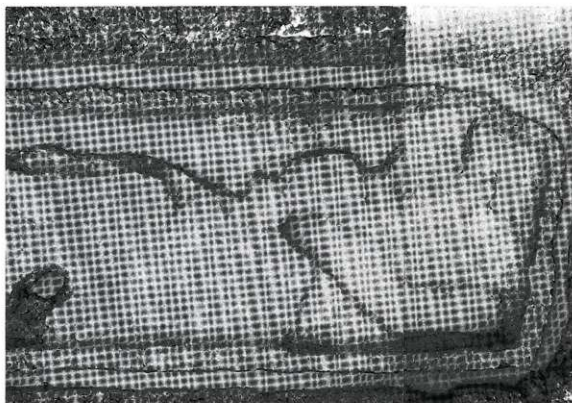
(1) SD-002、SK-004、SK-005 2区（東半部）



(2) 1区（西半部）



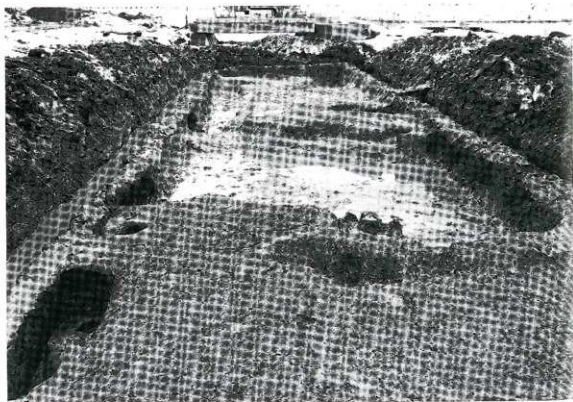
(1) 江跨地区 SD-003 1区 (中央)



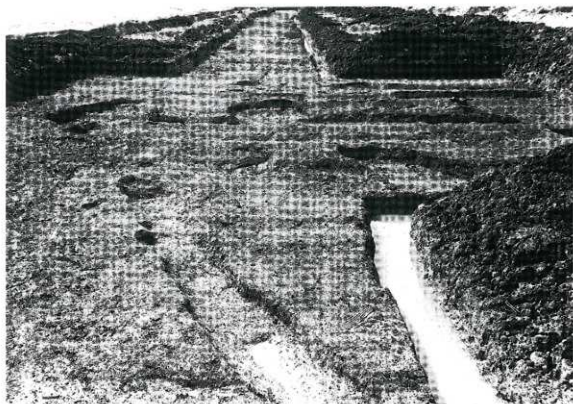
(2) 1区 (東部)



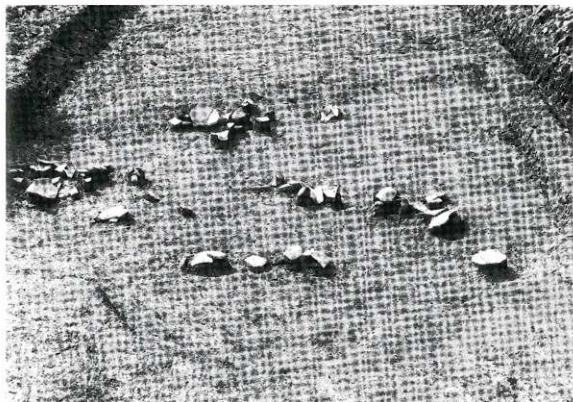
(1) SK-005 土器出土状況



(2) 1区 遺構完掘状況（西より）



(1) 6・7区 遺構完掘状況 (SD-009)



(2) SK-010 遺物出土状況



(1) SD-011（上層） 遺物出土状況



(2) SD-001（下層） 遺物出土状況



(1) SD-002（下層） 遺物出土状況



(2) SD-011 完掘状況



(1) SD-012（上層） 遺物出土状況



(2) SD-012（下層） 遺物出土状況

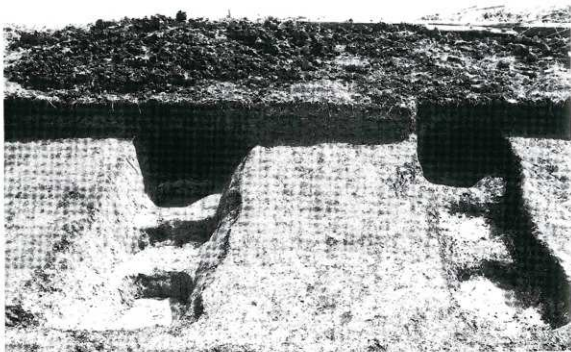


(1) SD-002（下層） 遺物出土状況



(2) SD-012 完掘状況

Ⅲ次 15区溝



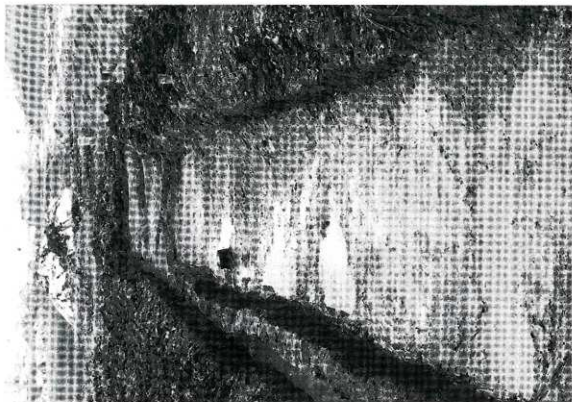
(1) SA-013・SA-014 完掘状況



(2) SD-006 (旧河道肩)



(1) 25区旧河道肩



(2) 1号方形周溝墓



